

新興国レポート

インド2019年12月消費者物価 5年5ヵ月ぶりの高水準

RBI（インド準備銀行）の物価の先行き見通しが注目される

- ▶ 2019年12月のインドのCPI（消費者物価）は、2019年夏の悪天候による食料品価格の高騰等が響き、前年同月比+7.4%と5年5ヵ月ぶりの高水準となった。
- ▶ 景気減速と物価上昇が同時に進行する中、2月6日のRBI会合が注目される。RBIが景気刺激より物価の抑制を優先して利下げを見送る場合、失望売りでインド10年国債金利が上昇する可能性も。

(1) 12月のCPIが5年5ヵ月ぶりの高水準に

- インド統計局が1月13日発表した2019年12月のCPIは、前年同月比+7.4%と11月の同+5.5%から加速し、2014年7月（同+7.4%）以来5年5ヵ月ぶりの高水準となりました。CPI構成要素の約40%（2019年12月時点）を占める食料品の値上がりがCPIを押し上げています。一方、変動の大きい食料品・飲料・燃料を除いたコアCPIは同+3.7%と、11月（同+3.5%）よりやや上昇したものの、RBIの物価目標である4%を下回っています（図表1）。
- 2019年夏の悪天候等により野菜の値段が同+60.5%と、6年1ヵ月ぶりの高水準となったこと等が影響し、12月の食料品価格は同+14.1%と11月の同+10.0%から加速しました。野菜の内、カレー等インドの料理に欠かせないとされるタマネギの値段は前年同月に比べて4倍以上に跳ね上がっています。尚、食料品以外の主な構成要素である住宅・家賃や光熱費は落ち着いた動きとなっています（図表2）。

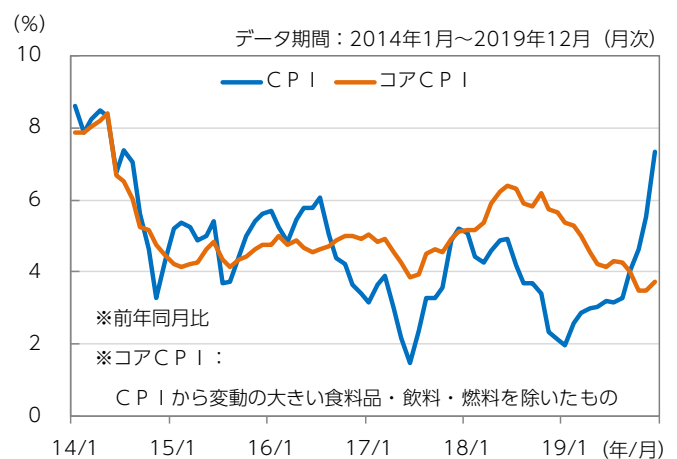
(2) 一旦上昇した金利は落ち着きを取り戻す

- CPI発表を受けて1月14日に6.67%まで上昇したインド10年国債金利はその後落ち着きを取り戻し、16日時点ではCPI発表前の水準である6.60%に低下しています（図表3）。景気刺激のためにRBIが2月の会合で追加利下げに踏み切るとの観測や食料品価格の上昇は悪天候による一時的なものであるとの見方、コアCPIが比較的低位で推移していること等が金利の一段の上昇を抑える要因になったものと思われます。

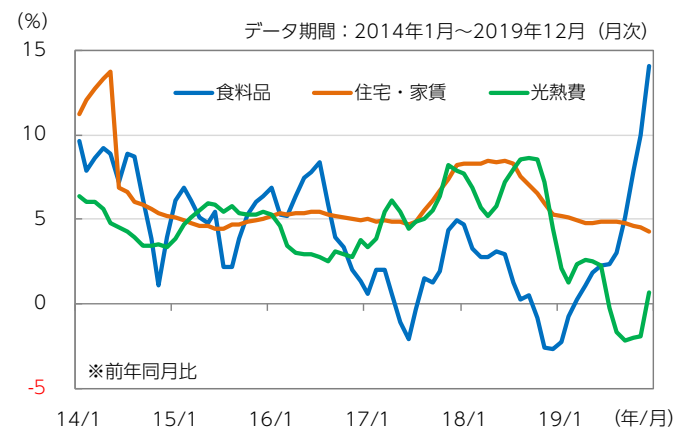
(3) 2月6日の会合でのRBIの政策姿勢が注目される

- インドは2019年7～9月期の成長率が前年同期比4.5%増と6四半期連続で縮小する等、景気減速が続いています。物価上昇の勢いが増す中、2019年12月の会合で大方の予想に反して利下げを見送ったRBIが、2月6日の会合で景気刺激のために利下げに動くのか注目されます。RBIが景気刺激よりも物価抑制を優先して利下げを見送った場合、物価が安定するまで政策金利は当面据え置かれるとの見方が増え、失望売りでインド10年国債金利が上昇する可能性もありそうです。

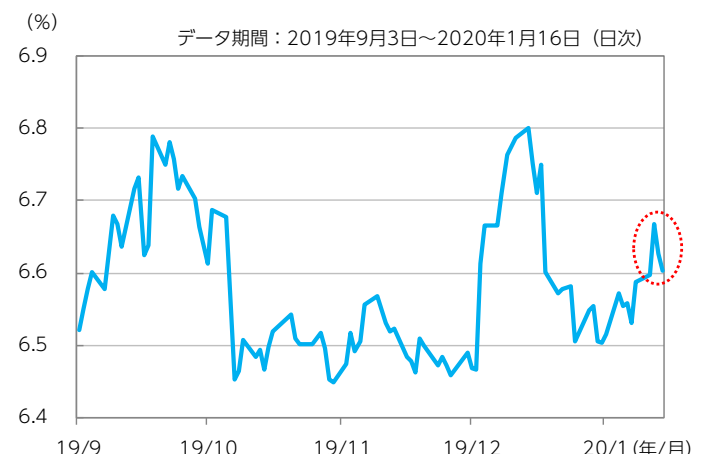
図表1：CPIとコアCPI



図表2：CPIの主な構成要素の価格変動



図表3：インド10年国債金利の推移



出所) 図表1～3はCEICのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮していませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>